

当初予算

平成27年度当初予算概要

全会計の総額は、前年度当初と比べ
て3.5%増加で、過去最大予算に

平成27年度の当初予算は、第
2次瀬戸内市総合

計画に掲げる将来
像「人と自然が織
りなすしあわせ実
感都市瀬戸内」の
実現を目指すため、
限られた財源を重
点的・効率的に配
分しています。

また、新たな試み
として「市長特別
事業」（単年事業）
と「まちづくり事業
（錦海特別枠）」（継

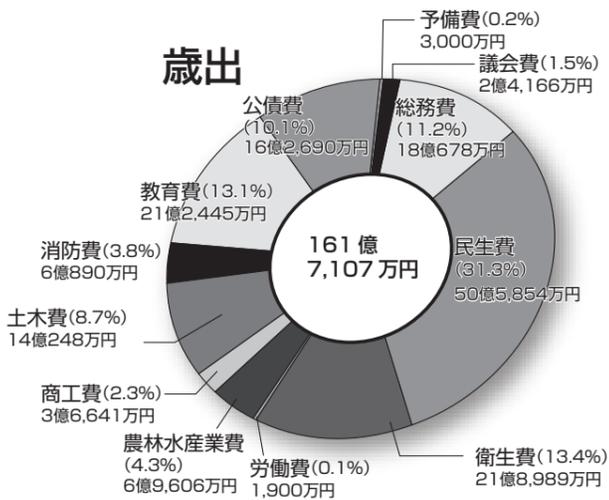
続事業）を創設しました。
予算の規模は、一般会計予算が
161億7,107万円（前年度
当初比2.1%増）、特別会計（10
会計）が124億5,709万円

区分	予算額(万円)	前年度比
一般会計	1,617,107	2.14%
国民健康保険	508,755	12.91%
裳掛診療所	3,219	10.70%
美和診療所	1,859	2.87%
介護保険	415,645	5.11%
後期高齢者医療	47,714	3.86%
農業集落排水事業	28,402	△2.30%
漁業集落排水事業	8,593	155.67%
下水道事業	184,356	17.06%
土地開発事業	5,972	△46.47%
企業団地造成事業	41,194	△10.75%
計	1,245,709	8.90%
特別会計		
病院事業	402,639	△16.48%
水道事業	297,928	26.72%
計	700,567	△2.32%
事業会計		
合計	3,563,383	3.46%

歳出の内訳

新図書館整備などにより、前年度
に引き続き、市誕生以来最大規模

一般会計では、中学生までの医
療費無料化や高齢者対策などの社
会保障費、マイナンバー制度に係
るシステム改修経費、新図書館整
備や中学校施設耐震整備などの投
資的経費に係る予算を計上してい
ます。



市民1人当たりの主な予算

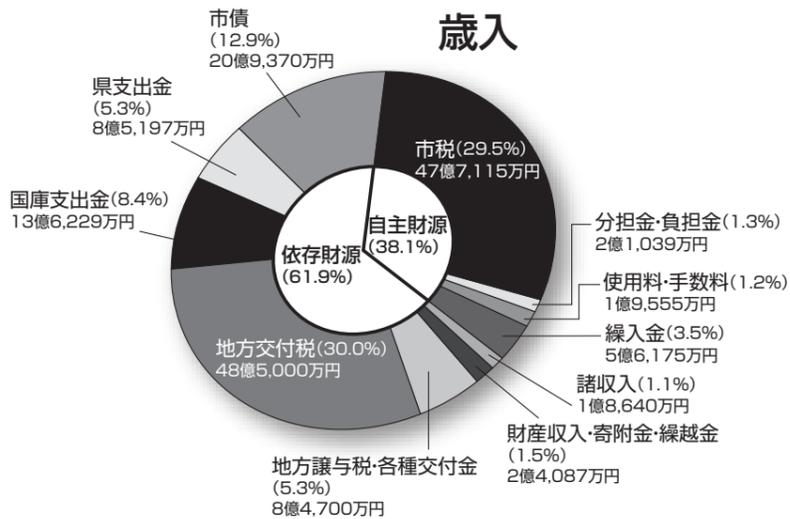


歳入の内訳

市税は増加、
地方交付税・市債は減少

一般会計予算の歳
入のうち、市税は、景
気の持ち直しなどに
よる、前年度と比べて
8%（1億2,848万
円）の増と見込んで
います。

地方交付税について
は、合併算定替え特例
期間の終了による段階
的な削減などにより、
前年度と比べて4.7%
（2億4,000万円）
の減を見込んでいます。
また、市債については、
地方財源の不足を
補てんするための臨時
財政対策債は前年度と



地域の防災対策

396万円

災害訓練、防災研修や自主防災
組織活動などへの支援を行い、災
害時に備えます。

基幹システムの更新

5,100万円

平成28年1月施行の社会保障・
税番号（マイナンバー）制度に備
え、システム構築を行い、基幹系
ネットワーク機器を更新します。

市民活動の応援

1,926万円

市民活動団体の公益的な活動に
対して助成する公募型の市民活動
応援事業を実施します。

定住の促進

2,944万円

販売促進補助金など販売体制
を強化し、東町ひまわり団地と
牛窓西浜団地の販売促進や空き
家などの定住情報の発信などを
行います。

小児医療費等給付事業

1億5,467万円

医療費を中学生まで無料化し、
子育て家庭を支援します。

ヘルスアップ

1,093万円

国民健康保険被保険者を対象
に、健診情報などを活用したデー
タヘルス計画を策定し、健康増進・

疾病予防を図ります。

・ごみ減量の推進

1,299万円

資源ごみ回収団体や生ごみ処理機購入者への助成など市内で排出されるごみの減量啓発を行います。

また、クリーンセンターかもめに持ち込まれる植木・竹などの剪定ごみを粉砕するチップマシンを大型化し、堆肥などにして、ごみの減量につなげます。

・臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金 8,837万円

消費税率引き上げによる低所得者と子育て世帯への影響を緩和するため、給付金を給付します。

・権利擁護センターの運営

1,276万円

各種権利擁護に係る相談窓口を集約し、ワンストップ化を図ります。

・有害鳥獣等駆除・外来生物防除事業 522万円

イノシシやシカなどの有害鳥獣の駆除や防護柵設置、また狩猟免許取得に要する経費を助成します。

・ステイネーションキャンペーン事業 728万円

地域と連携して観光資源の開発・宣伝や観光誘客を展開します。

・企業誘致の推進

1億4,611万円

邑久町豆田地区に工業団地を造成し、優良企業を積極的に誘致します。

・子どもを伸ばす教育

592万円

子どもたちの学ぶ意欲を向上させるため、体験型授業を実施します。

学生インターンシップを活用し、教育者を目指す学生を教育

現場に招きます。

小学校における新たな不登校児童を生まないため、現状や課題に応じた実践的な研究を行います。

・上水道施設整備事業

6億3,178万円

邑久地域と長船地域を結ぶ上水道の連絡管を布設し、安定した水の供給に努めます。

また、長船水源施設の更新や

送水管を整備します。

・新図書館の建設

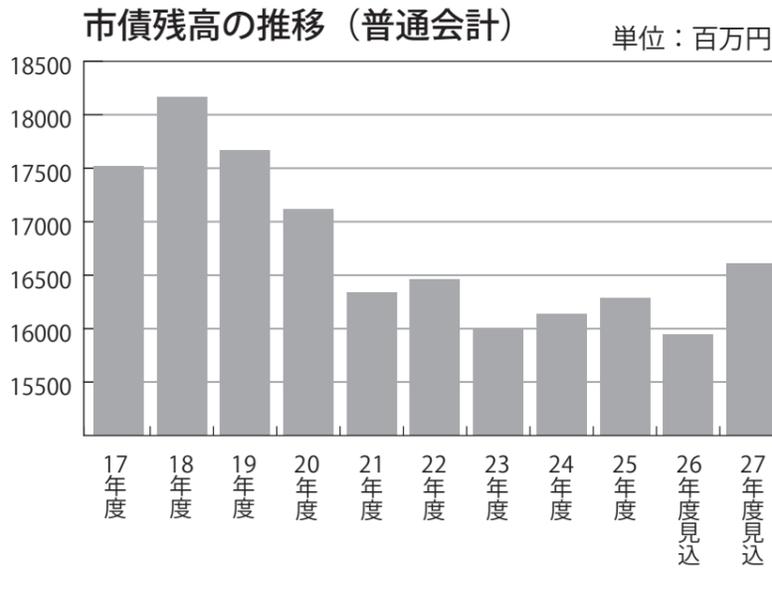
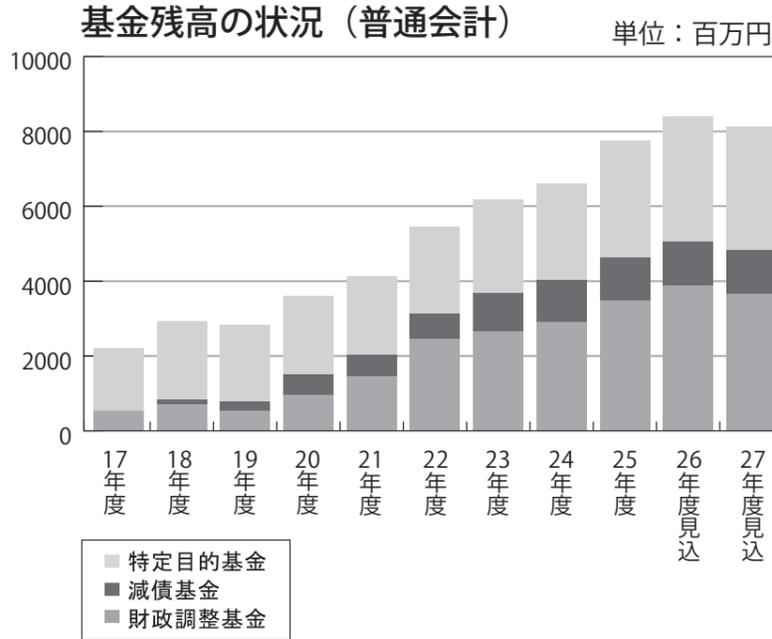
5億4,634万円

生涯学習の拠点となる新図書館の本体工事を行います。

・新市民病院建設事業

26億7,680万円

平成28年度開院(予定)に向けて、市民医療の中心となる総合病院を建設します。



財政健全化に向けた取組

平成26年度に策定した財政運営適正化計画に沿って、持続可能で安定した財政運営の実現に向け、財政健全化に取り組んでいきます。

具体的には、公共事業に対する分担金や施設利用料金など、適正な受益者負担による収入の確保、そして市単独補助金や経常的経費などの歳出削減や施設の統廃合などに積極的に取り組み、本年度からの段階的な交付税の削減に対応します。

基金および市債残高の状況

財政健全化を図るためにさまざまな取り組みや特定目的基金からの繰入れを行いました。財源不足は解消できなかったため、やむを得ず財政調整基金を取り崩して予算を編成しました。当初予算編成後の財政調整基金は、約36億7,000万円となる見込みです。

新事業を創設

また、一般会計の市債残高見込額は、前年度末と比べて約6億5,900万円増額し、約166億900万円の見込みとなっていますが、上水道の施設整備や下水道事業の継続的な展開に加え、病院の建設工事のため、市全体の市債残高は362億7,200万円となり、前年度末と比べて約27億1,300万円の大幅増額となる見込みです。

平成27年度は「100年先へ、人の輪が広がるまち」を目指して、人口減少対策など将来に向けた投資を基本とした「市長特別枠事業」(単年事業)と、錦海塩田跡地貸付料収入を原資とした「太陽のまち基金」の一部を活用し、地域振興や子育て支援を目的とした「まちづくり事業」(錦海特別枠)(継続事業)を創設しました。

●市長特別枠

2,999万円

①協働提案事業 1,173万円
市が抱える課題について、市民

との協働により課題解決を試みる事業です。

②公共交通調査事業

1,525万円

交通空白地域の解消に向け、需要の把握・分析を実施し「公共交通網形成計画」を策定します。

③瀬戸内市発ブランド推進事業

150万円

レモン産地育成のため農家の苗木購入を助成し、特産品開発や料理コンテストなどを行います。



△収穫期のレモン

△平成26年度に植えたレモンの苗木

④フェイスブックを利用した市内情報の発信

49万円

市内の話題などをフェイスブックに投稿し、市内外へ情報発信します。

中学校吹奏楽部と交響楽団との合同演奏会を開催し、文化活動を推進します。

⑤次世代音楽マイスター創出事業

102万円

錦海湾堤防を利用した観光ルート策定事業 500万円

●まちづくり事業(錦海特別枠)

3,700万円

①錦海湾堤防を利用した観光ルート策定事業 500万円
錦海湾堤防沿いに市道新設を検討し、岡山ブルーライン道の駅から牛窓地域への観光ルートを研究模索します。

②小中学校教育振興事業

640万円

小中学校にデジタル教科書や教育ソフトを配備します。

③小学校35人学級化事業

2,530万円

市内全小学校のクラスを35人学級化し、きめ細かな教育環境を整えます。

④不育治療費助成事業

30万円

子どもを欲しながら不育症のため子どもを持つことができず、不育治療を受けている夫婦に治療費の一部を助成します。

☎ 困窮相談課

0869・22・3905